

国民平和行進

「和歌山→三重→奈良→広島コース」が8日三重県入り

6月8日、国民平和行進「和歌山・三重・奈良・広島コース」が三重県に入りました。

三重県最南端の紀宝町役場前で午前8時半から引き継ぎ式と三重県内コースの出発式がおこなわれました。開会にあたって落合県実行委員長は、平和行進の歴史にも触れながら、とくにことしの行進は、夏の原水爆禁止世界大会の成功につなげ、さらには来年5月の核不拡散条約（NPT）再検討会議で核兵器廃絶実現の具体的みちすじをつける重要な意義をもつことを強調し、10日間わたり県内全自治体を訪問し、いっそうの世論と運動をひろげていこうと訴えました。

集会には西田健町長、矢熊達男町議会議長が激励にかけつけ、それぞれから協賛金が寄せられました。

行進団は、県内通し行進者の鈴木祥夫さん、荒木健次さんを先頭に、晴れ上がった紀州路に元気いっぱい踏み出しました。出発の際の参加者は、地元原水協のメンバーのほか、全運輸労組、新日本婦人の会、民医連、農民連など26名でした。

行進団は御浜町を経て、昼には熊野市役所に到着し、夕方には尾鷲児童公園に着く予定です。

県内行進は3コースで、14日には3コースが津市で合流し、県生協連、県原爆被災者の会といっしょに「ハート平和行進」と県への要請集会

三重県内平和行進は、3コースでおこなわれ、北勢→津コース（12日発）と白山→久居コース（14日発）が14日津市で合流し、お城西公園で県生協連・三重県原爆被災者の会・2009年原水爆禁止世界大会県実行委員会の共催で集会をおこない、津市長などの挨拶をうけたあと、三重県庁まで行進し、三重県水産会館で集会をおこない、県知事への要請文を手渡すことになっています。

その後、亀山市、伊賀市、名張市を訪問しながら、17日奈良県に引き継がれるまで10日間にわたって三重県内を行進します。